

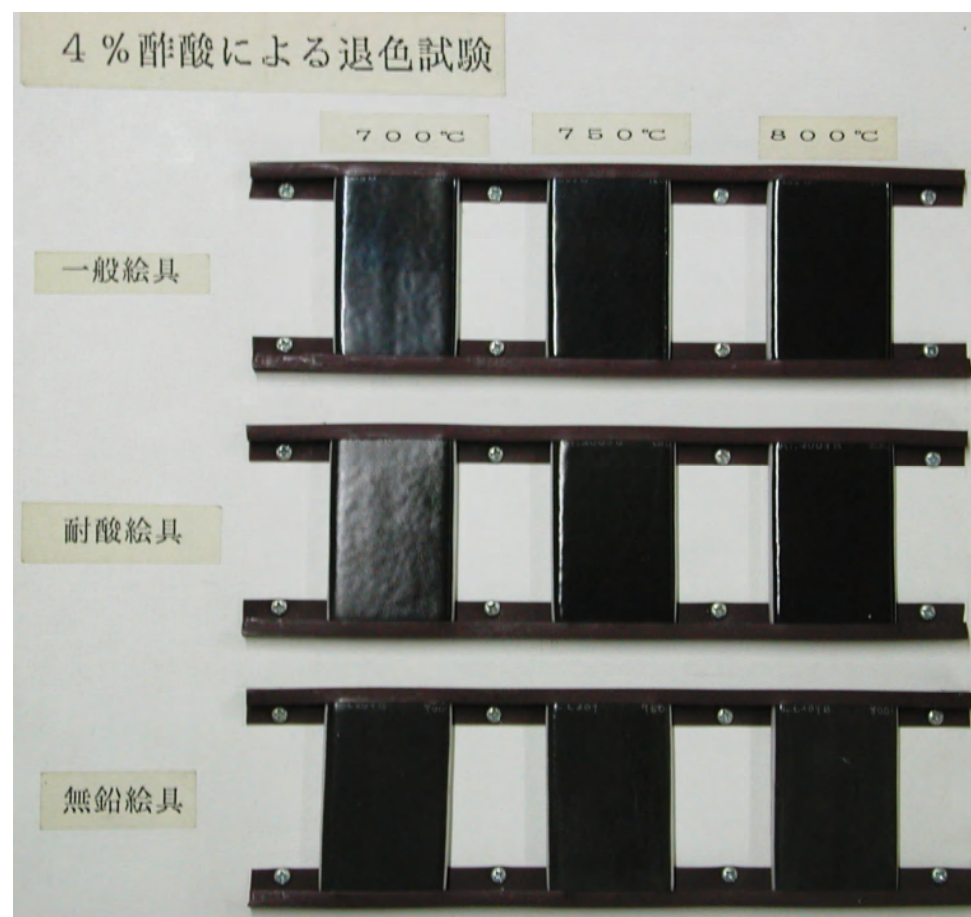
No.1

(焼成温度別耐酸試験結果 / Blue)

一般絵具(有鉛非耐酸系) : 700℃,750℃,800℃のいずれも脱色が激しい。
鉛の溶出は多いと思われる。

耐酸絵具(有鉛耐酸系) : いずれの焼成温度もかなり改善されている。
現在では掲示の資料よりはるかにレベルが高くなっている。

無鉛絵具 : アルカリベースで製造されているが耐酸性は今一步の感がある。
最近、耐酸耐アルカリの絵具が開発された。



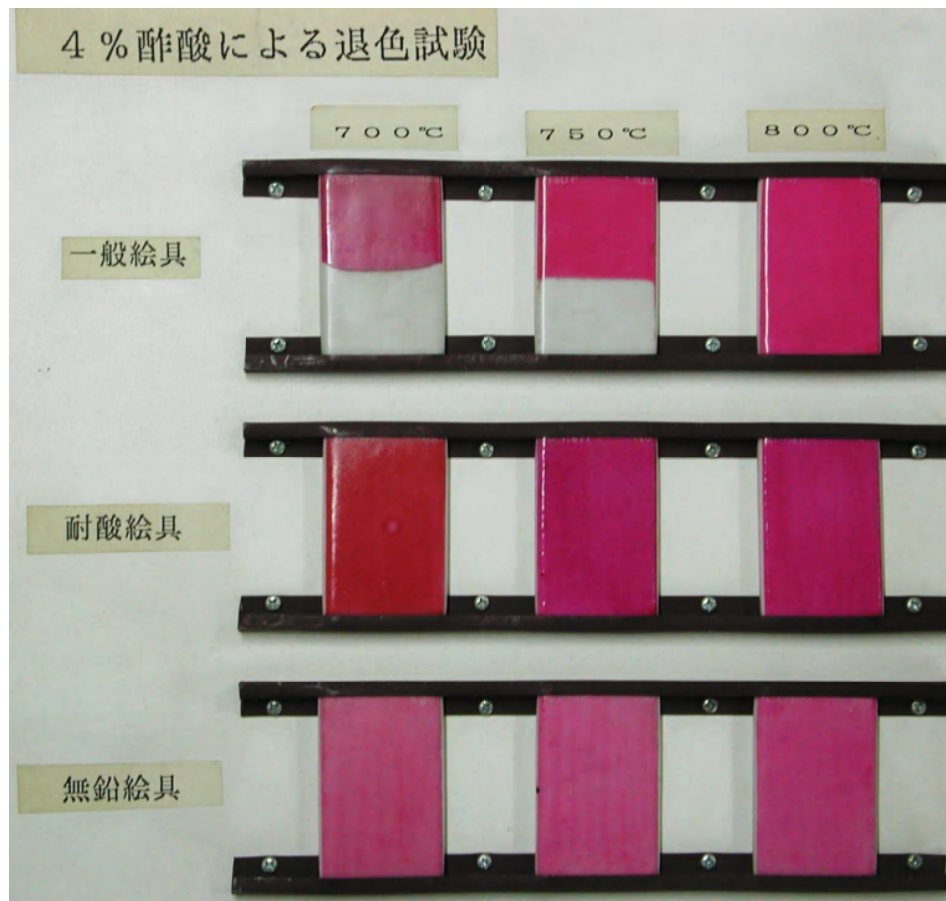
No.2

(焼成温度別耐酸試験結果 / Black)

一般絵具(有鉛非耐酸系) : 700℃,750℃,800℃のいずれも変化が少ない
元来,Blackの顔料は酸に強い。
鉛の溶出は少ない。

耐酸絵具(有鉛耐酸系) : 一般絵具同様変化は無い
色、艶とも良好である。

無鉛絵具 : 顔料が強いため脱色は無いが表面がマット化している。
フラックスがダメージを受けている表れである。



No.3

(焼成温度別耐酸試験結果 / Pink)

一般絵具(有鉛非耐酸絵具) : 含金絵具は高温焼成で安定化する傾向があり結果は800°Cで安定した状態になっている。

耐酸絵具(有鉛耐酸絵具) : 700°Cでは温度不足で銀分が表面に浮き出ている。
750°C,800°Cでは安定した発色している。
耐酸効果をはっきりとでている。

無鉛絵具 : 極端ではないが脱色が散見される。
鉛の溶出はない。